

しきしまの家 通信

Vol.19

7月

令和7年



＼ しきしまの家 6月22日(日) ／

ふらっと祭、実行委員・ボランティアが大活躍！

3年目に突入して、早3か月がたちました！

しきしまの家のふらっと祭は今年度から実行委員会形式で運営されており、**自ら名乗りを挙げてくれた実行委員11人**が、準備から当日の運営すべてを担っています。

チラシの作成からはじまり、出店者の調整、場所決め、会場の準備、後片付け、進行、音響、イベントの計画などなど……。車の誘導は町内会からも応援に駆けつけてくださいます。

次回のふらっと祭では胸に名札を付けた実行委員に改めて注目ください。そして、一言「頑張ってるね!」とお声掛けいただけると嬉しいです。



大盛況の次世代育成部ミニ4駆で遊ぼう



会場を和ませてくれたオカリナ演奏



yuiのナンバー1メニューはラーメン

また、中学生のボランティアの動きも注目されています。駄菓子屋さんの出店者としての働きや、準備・後片付けのきびきびした動きなど、頼もしい限りです。

地域の皆様の様々なご協力により、ますます盛り上がるふらっと祭です。**住民が主体的に行動する敷島の風土に誇りを感じ、地域の明るい未来に胸躍る毎日です。**



会場設営に大活躍の中学生ボランティア

＼ 関心は「開かれた地域」と「アットホームな拠点」 ／

海外からも視察が相次いでいます

令和7年度に入って既に14件の視察を受け入れました。6月には、**JICA(国際協力機構)**を通じた**アフリカや東南アジアの国々の公務員、南山大学と提携する香港大学の学生**など海外からの視察が相次ぎました。



6月3日(火) 14ヶ国からJICAの視察

鈴木事務局長は、多様な価値観を認め開かれた地域にすることが、移住者に選ばれる秘訣だが、15年の歳月を要した。また、敷居の低いアットホームな拠点も必要。そして、良い取組みを次世代に繋ぐためには、子どものころから地域について学ぶこと。落伍してUターンする人は少なく、いなかの暮らしに**真の幸福を求めてUターンする人が多い**と答えました。

フィリピンのJnaさんからは、しきしまの家の住民主体の取組みを未来志向と評した上で、若者を含む移住者を引き付ける秘訣について、ブータンのKesangさんからは、先進的な取組を次世代にどう継承していくかなどについて問われました。香港大学の学生からは、**Uターンをすることで「引け目」を感じることはないか**との質問も。



6月7日(土) 真剣に学ぶ香港大学の学生

都市・農山漁村共創社会シンポジウムで しきしまの家の取組報告

6月29日(日)、NPO法人中山間地域フォーラムと全国町村会共催の、「多様な関わりによる新しい農村づくり」をテーマにしたシンポジウムで、しきしまの家の取組みを報告しました。全国の自治体関係者、研究者ら約180人から大きな反響がありました。

農村RMO(地域運営組織)しきしまの家の、稲作を通じて消費者と生産者が直接結び付き家族のような関係をつくる**「自給家族」や誰もが支える人であり続ける「支え合いシステム」の取組**は、疲弊する**全国の山村に大きな希望を与える事例になった**ようです。

コーディネーターの明治大学小田切徳美教授は、農村RMOの持続性に向けた(株)三河の山里コミュニティパワー(MYパワー)との連携に着目し、ドイツのシュタットベルケ(再生可能エネルギーなどの公益事業会社)を事例に、取組みの先進性や意義を高く評価していました。



パネリストとして登壇する鈴木事務局長(都内全国町村会館)

＼ パワフルで扱いやすいモアとラジコン草刈機で耕作放棄地解消に展望 ／

ORECハンマーナイフモアを導入しました

7月2日(水)、榑野町の草刈り実証ほ場で、ORECハンマーナイフモアの操作説明会があり、草刈りロボットを開発中の愛工大生、最適土地利用総合対策で梅園などを整備した加塩町の住民など15名が、メーカーの技術者から操作の手ほどきを受けました。

加塩町の林錡さんは、梅園の管理は、草刈りが大きな課題、ハンマーナイフモアやラジコン草刈機なら**操作も難しくなく、若い人も楽しみながら草刈りができそうで一安心**と感想を述べていました。

しきしまの家では、ハンマーナイフモア、ラジコン草刈機など個人で所有するには高額な高性能機械を今後も拡充します。予約制、リーズナブルな有償での貸出(半日2,500円程度)を検討しており、地域の**耕作放棄地解消の切り札**となることが期待されます。



＼ 令和8年度の申請に向けて早めの準備をしましょう ／

危険木伐採補助、12件の申請をお手伝いしました



1次採択された大坪町藤野清和さんの杉大径木幹回り196cm

新たに制度化された危険木伐採の補助の1次採択は、12件の内5件にとどまりました。今後補正予算などで2次採択も予定されているほか、新規補助事業は、3年間は継続されることが一般的です。

大坪町の鈴木鋭治さんは、檜の大径木が、自宅と隣家に倒れないか心配しながら暮らしてきましたが、1次採択されホッと胸をなでおろしていました。

この機会に皆さんも不安を解消しませんか。しきしまの家が相談に乗り、申請をお手伝いします。



「しきしまの家坂道ギャラリー」
～芸術の秋、しんどい坂道が素敵な美術館に～

旭中学校和文化部での話題をヒントに、坂道の擁壁に、子どもたちを中心に絵を描くイベントを計画しています。詳しくは、8月の全戸配布チラシをご覧ください。



現在は残念な汚れた擁壁

毎月第3水曜日は「しきしまの家映画の日」

ご注意！

8月は
まちなか出張上映会
です



▶ 8月24日(日) 14:00～16:00

『江里はみんなと生きていく』

重い障がいのある西田江里さんと母の良枝さん、そしてケアスタッフの12年間の記録したドキュメンタリー。ともに地域で生きる関係性を育んでいく営みに希望を見出せます。

●会場 とよた市民活動センター ホール(T-FACE A館 9F)

●定員 先着80名 ●後援 豊田市教育委員会 ●共催 とよたスコープ

▶ 9月17日(水) 10:00～12:00

『コミュニティムービー「30(さんまる)」』

「こう生き・こう死にたい」と思える多世代型介護付きシェアハウス「はっぴーの家ろっけん」に見る、ダイバーシティ(多様性)とインクルーシブ(包括性)。

●会場 しきしまの家“音楽室” ●定員 先着20名

●いずれも参加費 大人1,000円(18歳以下無料)

●申込み asahi.cinema.scorp@gmail.com

または 西田 <080-3678-6880> まで



しきしまの家カレンダー

8

2025
August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2 休
3 休	4 休	5	6	7	8	9
10 休	11 休	12	13 休	14 休	15 休	16 休
17 休	18 休	19	20	21	22	23
24 休	25 休	26	27	28	29	30
31 休						

9

2025
September

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1 休	2	3	4	5	6
7 休	8 休	9	10	11	12	13
14 休	15 休	16	17	18	19	20
21 休	22 休	23	24	25	26	27 休
28 休	29 休	30 休				

休…定休日、
臨時休業日

ふ…ふらっと祭

結の間で、
あなたの「やりたい」を
叶えませんか？
ご相談はしきしまの家へ
TEL 77-5733



お知らせ

8月13日(水)～16日(土)誠に申し訳ございませんが、諸事情によりスタッフのシフトが組めず、
臨時休業とさせていただきます。お急ぎの困りごと相談は、以下の相談員までご連絡ください。

後藤 哲義 080-1600-2078 / 板倉 小夜子 090-7043-0763 / 鈴木 辰吉 090-1864-5405